2022,4,5 歩こう!竹生島 協力事業:(地元旅行会社)

穏やかな良いお天気に恵まれ、竹生島の桜は咲きだしていて、とってもきれいでした。コースは。今津駅集合→琵琶湖周航の歌資料館→今津港→(乗船)→竹生島→(乗船)→今津港→ヴーリズ通り→泉慶寺→今津港 です。皆さん熱心に、展示物を見たり、景色を楽しんだり、説明もしっかり聞いて下さり、質問もありで、充実した一日で、ほっこりした時間を過ごしました。今日も自然に感謝。出会いに感謝の一日でした。

◆ハイキングの様子

※琵琶湖周航の歌資料館にて







(右のハガキの裏面)

1917年(大正6年)ボート部の琵琶湖周航の際、小口 大郎が途中の風景などをスケッチした私製ハガキの一枚 を、夏休みで寄宿に残っているはずの級友小玉博司氏宛 に出しました。

このハガキの日付印(滋賀・今津 6・6・28 后9-12) から、周帆2日目今津に着いた夜に投函されたことが推 寒できます。また当時のクルー仲間は、周航第2泊目の 夜に今津の宿で「小口君がこんな歌を作ったと見せられ、 これは面白いと皆でその境歌われていた。ひつじぐさ。の メロディーで歌ってみたらよくあった」と記憶しており、 大正6年6月28日にここ今津で「琵琶湖周航の歌」が誕生したことがわかりました。



14	F. J.		1	2 70	. Le	400 040	
ラ夜は	ラ朝は細	うない	手草の	一軒看	雄松さ	脂	
この名	3 8	夜	生へた	舎が	対が	114	
津に	きをやつ	-VAKO	池	あるだ	い折で	烈な順	
1.00 E	つて面で		40%	けだけ	公本	風でな	
	自かった	原	1	100	でた。	とき	
	た。全人	DELS.	8	NO.	P.	N. S.	
100	The state of the s	12	1 3	10		1	







お疲れさまでした